

(株)アスカネット (広島市安佐南区)



葬儀社向けに特化した

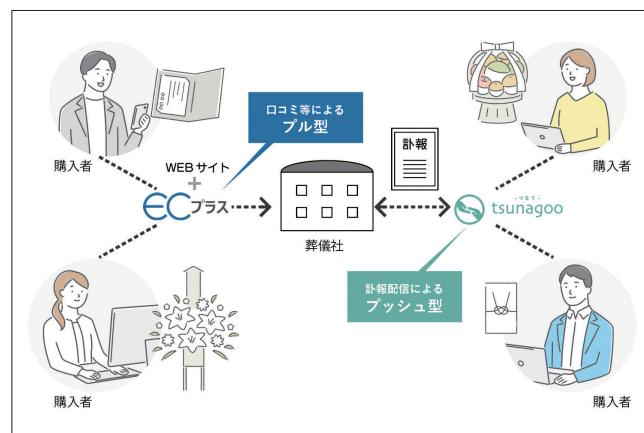
ECサイト作成サービス「ECプラス」提供開始

遺影写真加工で国内トップシェアを誇る(株)アスカネットは、葬儀社向けに特化したECサイト作成サービス「ECプラス」の提供を開始した。

現在、供物や供花などの送り物は、葬儀社へ直接電話やFAXをして注文するのが一般的だが、注文者（購入者）の多くは「好きな時間に、容易にオンラインで注文したい」と望んでいるといえる。しかし、現状は多くの葬儀社でECサイトが運用されていない。また、同社調べでは営業時間外（18時～翌9時）の注文が約3割にも及び、それを一葬儀社で対応するには24時間体制の維持や外部コールセンターの利用が必要で、この経費負担も課題となる。

そこで、同社はこうした課題を解消するECサイト作成サービスを開発した。

同サービスは、面倒なシステム構築は不要で、自社ホームページにリンクを貼るだけで、すぐに供物や供花などを販売できる。葬儀会場への直接配送に対応し、支払方法はオンライン決済や銀行振込だけではなく、現地支払いなど業界ならではの運用にも対応する。また、弔電受注機能も



標準搭載。新たな収益モデルを構築するだけでなく、同社の訃報配信サービス『tsunagoo (つなぐ)』のデータベースと連携しているので、供物・供花などの登録情報の相互利用が可能となる。

TEL ● 0120-59-1223 FAX ● 082-850-2114

(株)清月記 (仙台市宮城野区)



新しい供養のかたち

「バーチャル霊園」

高齢化や高齢単身世帯の増加、ライフスタイルの多様化などにより、距離、時間、身体的負担などさまざまな理由から墓参りがむずかしい人がふえている。こうしたことから、清月記では亡くなった人をスマートフォンなどで手軽に供養できるアプリ「バーチャル霊園」を伊藤忠インテラクティブ(株)（東京都港区）と共同開発し、昨年12月から提供を開始した。

このアプリは、墓参りが困難でも供養を続けていくため、かたちを変えても想いが続く場所となる「OHAKA」をインターネット上に設けるもの。スマホやタブレットで場所を問わず、亡くなった人やペットを供養することができる「新しい供養のかたち」である。

このアプリは、①誰でもお墓を建てられて参加できる、②メッセージが投稿できる、③画像や動画を投稿・共有できる、といった



体験会で説明する清月記菅原裕典社長

特徴があり、誰でも無料で使うことができる。

まず、バーチャル霊園にOHAKAを建て、管理人の承諾を得た家族、知人がOHAKAに入る。OHAKAには故人へのメッセージや画像・動画が投稿でき、家族、知人との共有も可能。また、オンラインでの法事の案内を出すことができる。

OHAKAの背景などは季節に応じて変化し、音楽も四季によって変わるため、お参りする季節が感じられる。

また、複数の故人を追加し供養できるため、バーチャル上の「○○家」の家墓になる。

TEL ● 022-782-5750 FAX ● 022-783-6116